

Ni微粒子の表面修飾Pがバインダー分解と焼結現象に与える影響に関する研究

照屋, 正祐

<https://hdl.handle.net/2324/7157334>

出版情報 : Kyushu University, 2023, 博士 (工学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)

氏 名	照 屋 正 祐			
論 文 名	Ni 微粒子の表面修飾 P がバインダー分解と焼結現象に与える影響に関する研究			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	中島 邦彦
	副 査	九州大学	教授	中野 博昭
	副 査	九州大学	教授	寺西 亮
	副 査	九州大学	准教授	齊藤 敬高

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、リン (P) で表面修飾した Ni 微粒子およびその塗料に着目し、Ni 微粒子の基礎物性（結晶性、表面修飾状態、加熱ガス脱離、焼結性）の評価を行い、Ni 微粒子を塗料化した際のバインダー分解性や焼結性に与える影響を解明するとともに、実用レベルで積層セラミックコンデンサ（MLCC）の性能、品質向上に寄与できる P の適正添加量を提案したもので、物質プロセス工学上寄与するところが大きい。よって本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。